



Japan External Trade Organization

ジェトロ通商セミナー
～USMCA・日米貿易協定・米中交渉から見る貿易摩擦の今～

トランプ政権は発足以来、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）からの離脱や北米自由貿易協定（NAFTA）の再交渉、鉄鋼・アルミ製品輸入への追加関税発動など、通商政策でも「米国第一主義」を鮮明に打ち出してきました。また、主要な貿易相手国とは、米国が抱える貿易赤字の解消を念頭に、2国間での交渉を求めてきました。

2019年には、その結果として、第1段階の日米貿易協定やNAFTAの改定版であるUSMCAの修正にかかる交渉で妥結するに至りました。日米貿易協定は今年の1月に発効済み、USMCAも年内の発効が見込まれています。

中国との関係では、2018年から追加関税の応酬という貿易摩擦に発展していましたが、今年の1月に、第1段階の経済・貿易協定に署名するに至りました。米国が要求していた貿易赤字の解消、知財保護の強化に関して一部合意に達したものの、解決すべき課題はまだ多く、二国間の緊張関係は長期に渡るとの論調も少なくありません。

こうした状況を踏まえて、今回のセミナーでは、トランプ政権の通商政策のアップデートとして、既に発効または発効のメドが立っている「日米貿易協定」と「USMCA」、および米中交渉とそれが国際ビジネスにもたらした影響を中心に、ジェトロ・ニューヨーク事務所の調査担当者からご説明します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 日時：2020年3月25日（水）午後2：00～4：30
- 講師：磯部真一 ジェトロ・ニューヨーク事務所調査担当ディレクター
- 参加費：無料
- お問い合わせ：ジェトロ・シカゴ事務所 Tel: 312-832-6000
(スティーブソン直子または西澤知史)

※参加申込者の情報については主催者（ジェトロ）にて適切に管理し、本セミナーならびに今後の事業案内等に関する連絡以外の目的には利用致しません。